

# 凜々しく ～附属小温故創新～ 2017/8/18 No. 19

## 夏休み明け ～黄金の3日間再び～

お盆明け、昨日は特別支援の研修会が開催されたこともあり、ほとんどのみなさんが通常の勤務に戻ってきました。「どうですか。少しはゆっくり休めましたか。」と声を掛けると、みなさん「おかげ様で、ゆっくりできました。」と笑顔で答えてくださいました。夏休みの間も、個人面談や長期の研修を含めた種々の研修、行事への対応などなかなかゆっくりと休む時間は確保できなかったかもしれませんが、少しでもリフレッシュできた、という先生方の声を聞くと正直ほっとすることができました。

さて、この夏休み、私も久し振りに家族5人で妻の実家（岩手県山田町）に一泊で出かけました。昔はどこへ行くにも3人の子どもたちが一緒でしたが、それぞれ大きくなると、家族の事情よりも優先することが多くなってしまい、ここ数年5人揃って出かけること皆無でした。この夏は娘の就活も一段落、下の息子は高校野球も一区切りしたこともあって、嫌がる長男も連れてなかば強引に出かけることにしました。

山田町はみなさんもお承知の通り東日本大震災で大きな被害を受けた町です。今年は『鯨と海の科学館』の再開された、と聞いて久し振りに訪れることにしました。迫力のあるマッコウクジラとミンククジラの骨格標本、今から5000万年前、カバの仲間の哺乳類が海に入ったのがクジラの始まりと言われていること、私たちの生命の源が「海」にあることなど、大人でも子どもでもじっくりと学べる内容でした。

月曜日、子どもたちはたくさんの思い出や作品を手に学校に戻ってきます。来週はぜひ一人一人の子どもたちの「夏休み」の経験に耳を傾けたり、子どもたちの頑張りを認めたりする時間を大事にしていきたいものです。そして、改めて「学級開き」をするつもりで特に最初の3日間を大事に過ごしていきましょう。

なかよし運動会に向けて「職員の結団式」も始まり、夏休み明けは教育実習、6年生の陸上記録会、4年生の泉ヶ岳宿泊学習、そして、なかよし運動会とタイトな日程の中に子どもたちが主役の行事が続きます。このような中でも、夏休み前に全員で確認した私たちの働き方改革の行動指標を忘れず、長時間労働を是正しながらも、子どもたちのために質の高い教育活動を維持し継続する、という難しいテーマに、私たち附属小の職員だからこそ一致団結して取り組んでいきたい、と願っています。

